

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和3年 月 日
名 称	令和3年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議（第4回）		
日 時	令和3年11月25日（木）18時00分～19時15分		
場 所	社会教育総合センター 武道館		
出席者	委員13名 鈴木、富永、辻、仲島、多田、佐川、富田、稲毛、道言、黄田、北向、谷、濱口 事務局9名 教育長、教育振興課長、社会教育班主幹、北川主査、佐藤根主任 島田主事、管野主事、長谷山主事、永井主事		
内 容	<p>会議の内容要旨</p> <p>1 報告事項</p> <p>① 上川管内社会教育委員兼公民館運営審議会委員等合同研修会等について</p> <p>② 令和3年度社会教育関係事業（9月～11月分）の実施報告について</p> <p>③ 令和3年度教育委員会表彰について</p> <p>2 協議事項</p> <p>・第9次社会教育中期計画令和3年度社会教育事業の検証・評価（各部会）について</p> <p>3 その他</p> <p>稲毛委員長：報告事項について、①令和3年度を上川管内社会教育委員基礎講座および上川管内社会教育委員・公民館運営審議員等合同研修会はオンラインで11月11日、社会教育総合センターと上小で開催した。報告感想を鈴木委員の方からお願いします。</p> <p>鈴木委員：この日は午前中1コマ、午後2コマということで3コマの研修会が行われたが、都合で午前中のみ参加した。文教大学の青山鉄兵先生という方が社会教育委員に求められる役割とはという単位で講演していただいた。内容的には社会教育教育委員の役割を考える前に、が一つの柱で、二つ目に社会教育委員制度の理想と現実で3点目に近年の社会教育行政の課題で、大きく三つに分けて話していた。内容的に大変講演慣れされた先生で、非常に聞きやすく面白い、興味深く聞ける内容だった。皆さんも承知の、地域における社会教育とどう関わるのがいいのか、参加者の意見も伺いながら進め、大変有意義な時間だった。オンラインだったが「すぐ聞く」というアプリで、聞いている人たちがオンラインでチャット</p>		

のように、感想や聞かれたことに、打ち込むとすぐ反映され、みんなが見れるように出てきてオンラインにも関わらず、会話形式的なグループ会議のような非常に親密感を感じる構成で、こういう設定の仕方これから学ぶ必要があるということが一番勉強になった研修会だった。

稲毛委員長：続いて富田委員お願いします。

富田委員：前の会議にも話した通り、長時間家を空けられない状況だが、遠方に行かずに、ここ社教でオンラインで受けられるので参加できた。日頃この社会教育委員の会議に出席しても、自分には難しくてわからないことが多く、何か得るものがあればいいという思いで参加した。午前の文教大学の青山鉄平先生の社会教育委員の役割についての講義は、家庭教育と学校教育以外のことが全て社会教育で市町村により違いがあるという話から始まって、わかりやすい内容だったが、自分としては、やはり社会教育は本当に幅広く、委員の役割も難しいということに改めて感じた。まず自分ができることは自分の住んでる町内のこと、地域で行っている様々なことに興味を持つこと。そして自分は女性連絡協議会から出ているので、1人の主婦としての目線や感覚で、これから学ばせていただければいいというふうに受け止めた。後は鷹栖の社会福祉協議会の活動についての講演で、縦割りの組織が横の繋がりを持つことで、チームにそれぞれの困りごとを解決しているという取り組みについて、とても感動的な講演を聞かせていただいた。

稲毛委員長：大西委員欠席のため、北向委員お願いします。

## 内 容

北向委員：鈴木先生の言っておられたようにネット上のオンライン会議の特性があり、すぐ聞くという名前チャット式の私達が見ている画面上に発言が文字で表示されていく。その中から話題にふさわしいものをピックアップしてそれに答えていくという形の講演だった。対面の一般的な講演会でも意思疎通を図る講演形式で、新たなツールとして非常に意義があると思った。上富良野町の社会教育総合センターに集まったメンバーは幌加内町のメンバーと二つの町の話ネットで行った。雑談でも非常に意義があった議論をする。参加者が7班に分けてそれぞれの画面上でやってるのが見えたが、私どもの第四班は面白い話結構やれたと思った。初めてのネット会議は非常に楽しく、この活用について将来的に将来性があると感じた。

稲毛委員長：事務局から参加報告。

事務局：青山先生の講義がチャットを使ったもので非常に勉強になった。後半、幌加内町と意見交換する場があり、地域の宝を生かした取り組みをどのように町としてやってるか意見も聞いた。そば祭りは2万食を小中学生も手伝ってやってるということもあり、そういうところが非常に参考になった。

(各委員特に意見無し)

稲毛委員長：②令和3年度社会教育関係事業9から11月分の実施報告について、事務局より説明を求める。

事務局：3～4頁の9～11月社会教育関係事業について報告。12月の事業で追加があり報告する。12月26日、教育委員会スポーツ教室事業フロアボール体験会、対象が小中学生。12月26、27日かみふっ子フレンドキャンプ、大雪青少年交流の家で実施、参加対象は小学6年生。二つの事業のチラシを配布したが、かみふっ

内 容

子フレンドキャンプについて、担当から説明する。

事務局：今年度初めて実施する小中接続事業かみふっ子フレンドキャンプについて説明する。事業の目的は、小学校卒業し中学校へ進学した際、これまでの小学校生活とは異なる新しい環境や、生活スタイルなどに馴染めず授業について行けなくなったり不登校やいじめが起こったりする現象や、学校規模が大きくなる、また仲間関係の変化がある、そういったいわゆる中1ギャップへの取り組みとして、今年度初めて事業を実施する。具体的な取り組みは、町内の全3校から中学校に集まる子供たちを対象に、事前の交流の場を設けることで知っている人がいる安心感、相手との適切な関係を学ぶ場、困難な状況を乗り越えるような体験の場として、自分が必要とされる存在であると感じ、お互いの違いを認め合い支え合うことができる、そんな取り組みとしてこの事業を計画した。チラシの方の具体的な日程については、12月の26、27日の一泊二日大雪青少年交流の家で宿泊を伴った事業を予定している。町内の小学校3校6年生を対象に現在募集している。

稲毛委員長：定員はないのか。

事務局：30名です。

稲毛委員長：かみふっ子フレンドキャンプはこれからも続けていく予定か。

事務局：今年度初めてこの事業を実施するが、次年度以降も大雪青少年交流の家と協力し合いしながら、将来的には小学校の6年生全員を対象に参加できるような形で現在協議させていただいている。

(各委員特に意見無し)

稲毛委員長：③ 令和3年度教育委員会表彰について、事務局より説明を求める。

事務局：令和3年度教育委員会表彰について資料1により報告。11月3日開催の総合文化祭で町の表彰と合わせ社会教育総合センターで実施した。文化功労賞1名文化奨励賞10名、スポーツ功労賞2名、スポーツ奨励賞9名、計22名。昨年は新型コロナウイルスの影響もあり小中高生のスポーツ大会が軒並み中止で非表彰者は13名と非常に少ない人数だったが、今年は感染対策を講じてスポーツ大会等が開催されるなど徐々にスポーツ活動が再開され受賞者22名という結果になった。

稲毛委員長：フローアボール体験会の説明を求める。

事務局：フローアボール体験会は上富良野町の教育委員会スポーツ教室事業として行う。講師を遠軽町の北海道フロアボール普及プロジェクトの梅田先生を招き、対象を町内の小学1年生から中学三年生まで定員が30名、先着順で現在募集をしている。

委員：ホッケーのような感じなのか。

事務局：ボールを使い安全に行うのも。

(各委員特に意見無し)

稲毛委員長：協議事項について事務局より説明を求める。

事務局：第9次社会教育中期計画令和3年度社会教育事業の検証・評価を各部会に分かれ18時50分まで実施、その後全体で報告をお願いする。

(18時30分～18時50分まで3部会に分かれ協議)

内 容

稲毛委員長：協議事項について部会長より報告を求める。

第1部会長：4ページから今後まだ事業が残っているもの、令和3年度未実施も含め、継続に値しない事業がないということで、全て継続ということで話がまとまった。その中で10ページの5番発明くふう展は、北海道科学技術展4入賞札幌青少年科学館で展示され12月5日表彰式、おそらくコロナの関係で出席はしないで伝達方式になる予定。1点、は全日本学生児童発明くふう展に応募する報告だった。何かしら賞に入ってくれることを期待したい。1部会の方からは以上です。

第2部会長：7、8ページ公民館講座のハロウィンパーティーは大変好評でALTブライアン先生クリスティン先生の参加のもと、募集定員が早々に今埋まったと報告を受けた。天体観望会は10月14日に続き11月19日も悪天候により中止。13、14ページいしずえ大学は9月17日交流会が中止となった代わりに10月8日に単独で芸能発表を実施した。また公開講座を2回実施、10月22日は高齢者の交通安全について71名、11月12日は認知症予防トレーニング75名の参加。15、16ページ読書コンクールは当センターのラウンジに入選作品を掲示している読書感想文感想画コンクールで、この後入選作品集を発刊。図書館まつりは、事務局の方から来館者の数の変更があり320名に訂正。今年は読み聞かせの催し1回25名の人数制限で実施をしたところ、概ね席が埋まっている状況だった。映画の上映会はムーミンの映画を上映した。また今後図書館の活性化ということで新たに人を呼び込む方策として、軽トラ市などを実施し、野菜の販売などを行うということも検討しているという報告を受けている。25、26ページ文化賞の表彰については先ほど実施報告にあった表彰等の名簿で確認をお願いしたい。青少年文化芸術大会と参加報奨金は、前回に加え追加でピアノのコンクールの全道大会に小学生が2件出場している。町民芸術劇場は、今年は11月2日に幼児の部を開催、道内団体呼びまして、感染対策を徹底して実施した。27、28ページ総合文化祭の参加人数等も実施報告のとおり。なお、来年以降については、展示や町民コンサート等を一か所で実施をすることにより移動を避けることができるので、社教センター1会場での実施を今後検討したいと報告あった。あわせて来年町民コンサートが40周年を迎えるということで、自衛隊の協力、また町民の全体合唱等を検討していきたいということだった。また富良野地区文化団体交流会の活動につきまして10月9日に中富良野町で開催された。参加のほぼ半数が上富良野町からの御参加で大変意欲的な活動である。35、36ページの郷土館と開拓記念館は10月31日でクローズ。特に郷土館は日曜祝日の来館者が増えていると報告を受けている。第2部会は以上です。

第3部会長：18ページ、スポーツ推進活動について10月1日の会議の議題は玉入れ雪合戦それとかんじきツアーについての協議を行っている。詳細については今後出てくる。4番の青少年スポーツ大会選手派遣報奨事業は、新しいところでは中学校女子バスケットがこの間の大会で3位に入り、12月24日から網走で行われる北北海道大会に進出するので補助金をいただいている。20ページ町民玉入れ大会は、小学校中学校女子の部一般の部と四つあるが、小学校の部1チーム、中学校の部5チーム、女性の部1チーム、一般の部がゼロで、全部

で7チームの参加のため、三つまとめて7チームのトーナメントで実施、参加50名程度となっている。22ページ学校開放は四つの学校で行われているが東中小学校がゼロだが、11月からミニバレーとテニスが入ってきたので、今後増える。ラジオ体操は防災センター前で1000人にも満たなかった。一昨年に比べると3分の1になっている。今年度については雨の場合中止、また参加者にはっきり行き渡らない点もあり、周知について今後工夫が必要だという意見が出ている。12番のスポーツフェスタの関係で、占冠で行われたノルディックウォーキングは、実施はされたが本町からの参加がゼロだった。38ページ日の出スキー場は12月18日オープン予定で、降雪の具合で若干変更ある。第三部会は以上です。

(各委員特に意見無し)

稲毛委員長：その他について事務局より説明を求める。

事務局：次回会議を令和4年3月24日(木)18時から武道館で予定。

(各委員特に意見無く終了)